

支援機器相談シート

相談日 R3年10月22日

中学部 生徒1

相談内容

●保護者より

細かい作業や、何かを描くことはできるが、両手が内側に入り込み物がつかみにくくなってきた。ペンを持たせられるような工夫があれば知りたい。

●担任より補足

主治医より、日常生活は、仰向け姿勢、横向き姿勢が中心であることが望ましいと、診断されている。生徒の意欲が高いときは、手首、肘などは支えなくても、シールを貼ったり、タブレット端末のアプリを利用して、鍵盤に触れ、音を出したりすることができる。姿勢が整っていなかったり、教材などの配置が整っていなかったりすると、活動に取り組むことが難しいため、適した支援方法を伺いたい。できれば、一人で取り組むことができる環境を設定できることを目標としている。

相談結果

- ・車椅子に乗って活動したり、降りて横になって活動をしたりしている。どちらかという横になった活動の方が多い。以前はタブレット端末を触って YouTube をみていたが、半年ほどで手首が内に入ってしまうできなくなった。タブレット端末が座って触れるようになるとよい。
- ・テレビなどは視線が上がるので座って活動したほうがよい。
- ・顎が上がると、気道、食道が重力で唾液が流れ込むので、首が安定していればよいがあまり角度をつけるのもよくない。
- ・タブレット端末では、本人の視線の位置にタブレット端末を持ってくる。ノートパソコンやタブレット端末を置く台を紹介してもらう。

BoYata ノートパソコンスタンド



・降りて横になったときには、足にクッションを挟むとよい。福祉用具カタログ「介援隊」の中のビーズクッションなど形が変えられるものが体にフィットしてよかった。

・ノートパソコンスタンドの穴の開いているところにタブレット型端末のカメラを出し、スイッチコントロールを使い、画面タッチをして写真を撮る。爪は短めの方が反応しやすい。

・タブレット端末をのせるノートパソコンスタンドに、スベラナイト(滑り止めシート)を下に置くことでずれにくくなる。

※スベラナイト商品説明 <https://suberanaito.jimdo.com/>



★特徴★

片手でも字が書ける、うすい、はさみで切れる、洗える、熱に強い、ミシン縫い可能、紙が滑らない、文鎮がいらぬ、スプーンが使える、水洗いできる、べたつかぬ、ほこりがつかぬ、ペンをさしても穴が開かぬ